

Wクラブ 3月定例会「カタクリ群生地から湯の華アイランド」

実施日：2025.03.27



今週の天気は先週に比べ真冬の気候が、春の陽気で晴天が続きました。ところが実施日の天気予報は厚い雲に覆われ午後からは傘のマーク。3年前の企画が頭をよぎり今年も無理かもしれないとの思いが、ヒヨットしたら中止の予感がしました。

実施日は嬉しい事に、朝から良い日差しでウォーキング日和に恵まれ楽しい定例会になりました。

①可児川駅から山里集落を抜けて可児川下流公園へ

名鉄金山駅改札口に男性7名・女性10名の17名が9時半に集合し、9:36の犬山行き準急に乗車、全員座席を確保。笑顔とおしゃべりの楽しいプチ鉄道旅行です。犬山駅で可児行きに乗り換え、可児川駅で下車。駅前大きな総合病院を左手に見て県道を横切り可児川に沿って、田圃の地道の畦道を気分良くウォーキングすれば、冬枯れの雑草のクッションも脚に優しく気分爽快、足取りも軽くウォーキングの素晴らしさを満喫し、大きく深呼吸をしたくなります。

今回は38期のニューフェースお二人が参加され、笑顔のご挨拶があり「よろしくお願ひいたします」元気で軽やかな声が冬枯れの田園に広がります。愛くるしい笑顔に見蕩れ、注意力が散漫になり道を迷いをしました。竹藪に阻まれて滑り易い法面用水路を跨ぎ脱出。また、新興住宅地の行き止まり道のUターンやら、参加者から信頼無くし軽蔑の視線を受けながら素直に反省。狭隘な県道を辿って国道R41のアンダーパスを潜り抜けて湯の華アイランドを右に見て下流公園に至りました。

下流公園入口の手前に新しい土田御前生誕地記念モニュメント。優雅な美形の母親が赤子の織田信長を胸に抱いたブロンズ像がありました。地方都市には自治体による観光用の、この様な記念物が作成され、目にする事が多くなった様な気がします。時間が経過して古色蒼然になれば、自然環境になじめば郷土史を知る歴史遺産として落ち着て鑑賞できるのかな？

②カタクリ群生地から氷場へ

入口駐車場は満車状態、ロープ柵の園路は観光客で溢れている状態で大盛況です。

3月定例会は第三木曜日の20日でしたが、春分の日と重なるため静かな雰囲気でもカタクリ群生地を鑑賞するつもりでしたが、これ程人気がある事を知り驚きです。平日でも大勢のカタクリと桜のお花見と兼ねた人が人を呼び込む「お祭り効果」が実感できました。多くのカメラマニアの方が高級望遠カメラを抱えて地面にうずくまっている様子を見ながら、邪魔をしない様に避けてロープ柵の園路を散策します。





小生の様な無粋な者にも、満開のカタクリの花を観て、納得し開花時期の短い事を知れば感激も大きくなります。小川の木橋の先は氷場と木曾川を眺めるのに適した広場、奥に進むと観光客は減りゆっくり桜を眺め小鳥のさえずりに耳を傾け俳句の一つも口ずさみたい、そんな風雅な気分にもなります。氷場は幕末頃に整備され、大正の末期頃まで利用されたそうです。その他、水源地や、日本ライン下りの船着き場など興味のある方には尽きない所がありました。時間も無く端折る事になりました。

「うぶなのよ俯きながらかたくり子」お粗末様でした！

③昼過ぎに湯の華亭でランチタイム。

湯の華アイランドの入口近くに食堂があり、湯の亭と魚太郎亭にカウンターが分かれおり、どちらも食券をタッチパネルによるセルフの食券購入です。慣れない小生はカウンターの女性のご指導で何とか無事食券を購入する事ができました。また、料理は受付番号の音声によりカウンター窓口に取りに行きます。あまり慣れていないアナログ高齢者には躊躇し戸惑ったが、何とか湯の華ランチAを受け取ることができました。余りにも広い食堂で箸やお茶やら探し、ようやく天麩羅蕎麦とご飯を美味しくいただく事になり漸く落ち着きました。食事が終わって自由解散となりました。皆さん、湯の華天然温泉グループ・湯の華市場でのお買い物グループ・あるいは土田城跡巡りグループ等に分かれご自由に過ごされた事でしょう。

④カタクリ登山口から鳩吹山の手前の小天神展望台で帰路は大脇登山口

午後の天気も薄曇りで安定しており、ペアーで登山もどきの山行になりました。道は良く踏まれており下降するハイカーも多く安心して高さを稼ぐことができます。小天神山頂手前から岩稜帯の急傾斜は、フックスロープを掴みながら蹴上の高い段差はかなりしんどい状態に困惑された様です。東屋から可児市市街の展望すれば、手前には紅白の煙突が目立つ大王製紙工場、その先には可児市街の住宅を俯瞰する事ができます。その先の稜線は多くのゴルフ場の丘陵を眺める事ができましたが、小生のスギ花粉・黄沙・高齢による霞目为重なり、彼方先は厚い雲と一体となって春霞状態です。

時間の制約もあり小天神展望台までとし、大脇コースを下りました。カタクリコースに比べ緩い丸太階段は良く整備されており安心して下降する事ができました。

国道 R41 の高架橋が架かる川沿いの道を迎れば、土田城跡の石碑を右に見て、再度 R41 のアンダーパスを潜れば湯の華アイランドに無事ゴールインしました。

⑤湯の華アイランドバス停から無料送迎バスで犬山駅を経て帰路に就く

湯の華バス停に土田城跡を回られたお二人が見え、四人が 14:52 発の送迎バスに乗車して、タイミングよく犬山駅で平安通行き電車に乗車し、本願寺町の小生は 16 時半過ぎに帰宅できました。

ところで、LINE グループを開いたところ、土田城跡での周回ウォーキングをした稲田女史のスプリングフェラルドの投稿写真が掲載されていたのでこの場をお借りして！(写真提供：30 期 北川健一他)



ショウジョウバカマ



キクザキイチゲ



ニリンソウ